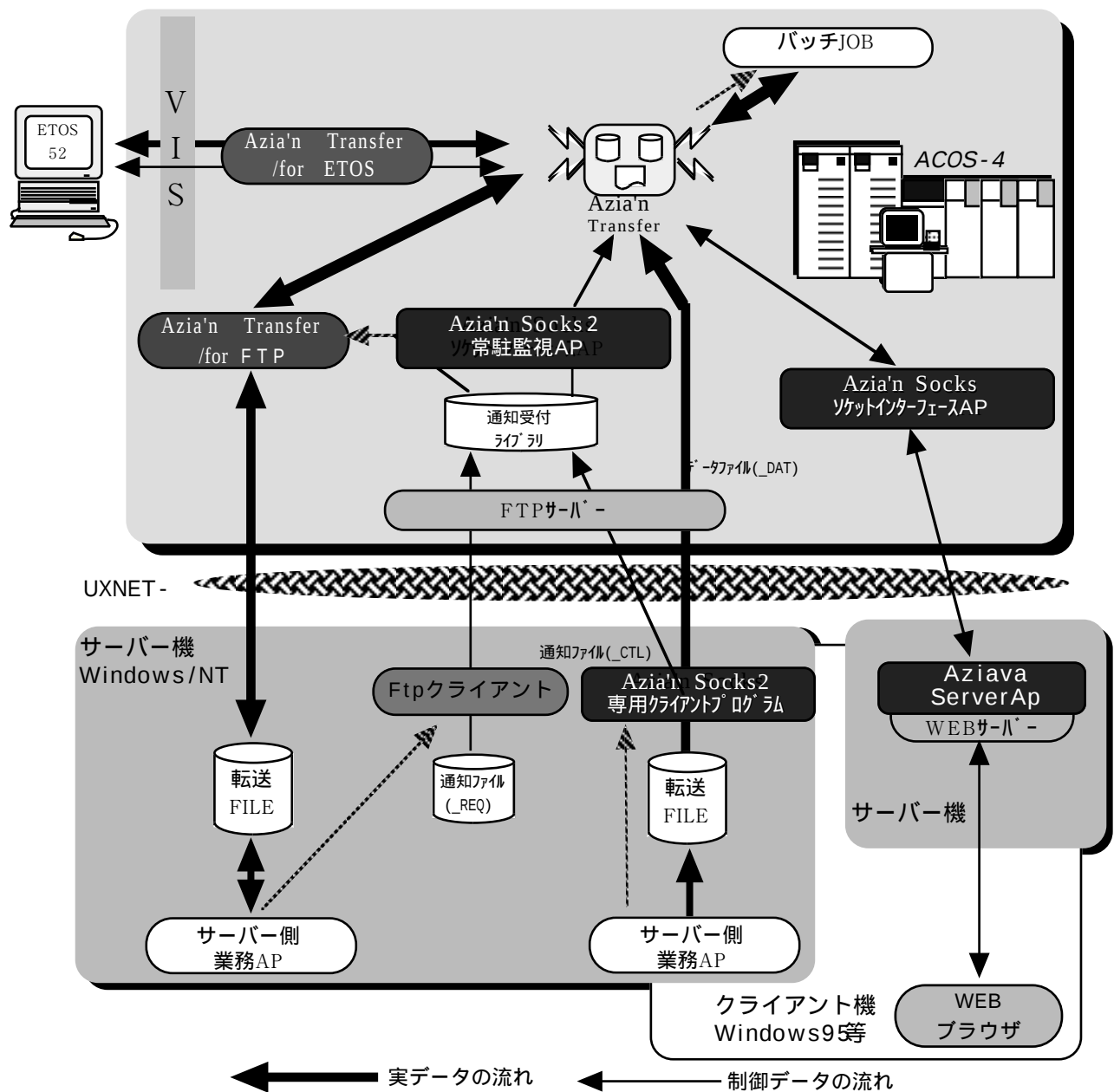


Azia'n Socks 2 及びAziavaのご紹介

「Azia'n Socks2」は、ACOS-4対応統合ファイル転送ソフト「Azia'n Transfer」の中の1コンポーネントであり、PC/Unixサーバ側のFtpクライアント又は専用クライアントプログラムとACOS側常駐プログラム間でFTPプロトコルのみを用いて「Azia'n Transfer」の他のコンポーネントに対する転送要求の発行、ファイル転送、JOBの起動等を実現いたします。

さらにオプションの「Aziava」を導入すれば、ホームページ上に配置したjavaアプレットから転送状況の検索や転送要求の発行をすることが可能になります。

1. システム構成図



2. 各種機能と特徴のご紹介

- a. 本システムが提供するPC側の専用クライアントプログラムを使用する場合、
ftpプロトコルによるACOSへのデータ送信正常終了後に、通知受付ライブラリに送信した通知ファイルをACOS側常駐監視プログラムが検知し、Azia'n Transferシステムへのデータ取込を行ないます。
- (現在のところ専用クライアントプログラムはWindows/NT,Windows95版のみのリリースとなりますので、他のシステムでの御利用を検討されている場合は別途御相談下さい。)
- 専用FTPクライアントプログラムは「.EXE」形式ですので、バッチファイル,ショートカット,他のPC側業務APからShellコマンド,等を用いて容易に起動することが出来ます。指定により親プログラムにて転送の結果(正常,異常)を取得することも可能です。
- 【参考】...EXE起動時の引数指定(下線部分が必須パラメータ)
- | |
|---|
| ホストID, S, ファイルID, AKSCD=宛先加入者CD, HKSCD=発生源加入者ID
, DV=ドライブ名, DSNM=データセット名, FLNMN=ファイル名称, COMN=コメント, PMD=出力モード値
, UPD=ファイル送信後処置値, RTRMID=処理実行端末ID, MSGKB=メッセージ表示区分, EVH=イベント通知ハンドル, EVM=イベントMSG
, RTY=リトライ指定, OPT=(オプション指定値), USER=ユーザーID, ACT=アカウント, PSWD=パスワード, MET=メタ表示 |
|---|
- b. PCサーバやUnixサーバが持つftpクライアントを使用する場合、
予め用意した(あるいはftpクライアントを呼び出すスクリプト等で動的に生成した)所定の形式の通知ファイルをACOSの通知受付ライブラリに送信すると、ACOS側常駐監視プログラムがそれを検知しAzia'n Transfer/for FTPを起動して実データの送受信を行ないます。
- c. 上記いずれの場合も、Azia'n Transferの標準機能により、転送終了後にホスト側JOBを起動することが可能です。
- d. サーバー上に「Aziun Acceptor」や「AziunBaps/JES」を配置すれば、各クライアントからサーバ上に書き込んだファイルを順次ホストへ転送することも可能です。
(こうすれば、各クライアント上への専用プログラムのインストールは不要です。)
- e. 最大レコード長8192バイトの可変長転送が可能です。
又、FTPを利用しているので、高速なデータ転送が実現できます。
当然のことながら、ACOS側のVISが立ち上がっていなくても転送が可能です。
- f. 基本的にはASCIIテキストタイプのデータを扱いますが、バイナリデータ転送やEBCDICデータ転送も可能です。端末種毎の漢字コード変換(JIS ↔ シフトJIS, EUCコード)も可能です。

- g. ACOS側におけるファイル毎の未転送,転送済といった状態管理機能、ACOS側へ送信した後の送信元ファイル削除機能、ACOS側から受信する際の受信ファイル名の動的変更機能等を、組み合わせることによりホスト業務と端末側業務間のインターフェースにおけるデータの紛失や2重転送といった事故を未然に防ぐことが可能です。
- h. 従来のAzia'n Transferが持つ各種機能(加入者別の端末管理機能,VISによる加入者別やファイル別転送状況検索機能,ユーザーバッチ処理業務とのインターフェース,区切り文字付テキストとの変換機能等)はそのまま利用可能です。
- i. オプションの「Aziava」をWebサーバ上に導入すれば、クライアントPCのWebブラウザから、転送状況の検索や転送要求,印刷要求の発行が可能です。
この場合は、クライアント側へのGUI画面プログラムのインストールは不要です。
- j. PC側に「Eazy Manager/Acceptor」や「Aziun Acceptor(サーバー機のみ)」を用意すれば、転送終了後にPC側の処理を起動することが可能です。又、ファイル転送後に結果を通知する為のレコードを別ファイルに出力する機能があるので、それを利用してNTやUNIX上で動作する他社製の運用管理ツール(JP1やTremony等)との連携も可能です。

3. システム要件

ACOS側

- a. Azia'n Transferがインストールされている事。
- b. f t pサーバが常駐し、f t pクライアントが利用可能な事。
- c. 使用ファイル
通知受付用ライブラリ... 数シリンダ又はLAUの待機結合ファイル
- d. 常駐JOB
監視AP ... 上記通知受付用ライブラリに到着した通知ファイルを監視し、
Azia'n Transferへのデータ取込を行ったり、
Azia'n Transfer/for FTPの転送JOBを起動する。
Socket I/F AP ... ソケットI / Fを用いてAziavaとの間で通信し、データ転送状況の提供
(オプション) 転送要求の受け付け等を行なう。

上記常駐JOBのJOBクラスには一般の業務JOBより若干高めの実行プライオリティを持つものを割り当てる事が望ましいです。

e. その他

各サーバ機からACOSへftpでログインする際のUser/Account/PasswordをUAFに登録しておく必要があります。これらはサーバ機の数だけ登録しておく事を推奨いたします。

サーバ側

- a. f t pサーバが常駐し、f t pクライアントが利用可能な事。
- b. Azia'n Socks2専用クライアントプログラムを使用する場合は、
現状ではwindowsNT4.0,2000環境下である事が必要です。

4. 通知ファイル仕様

Azia'n Transfer/for FTPを起動して実データの送受信を行ないたい場合の通知ファイルの仕様を以下に示します。

【データ形式】

以下の形式のレコード1件から成るものとします。

項目	属性	内容	設定例
環境識別	半角1文字		
●レコード区分	半角1文字	送信(サーバ→ACOS)要求の時「S」、受信要求の時「R」	S
日時	半角最大16文字	システム日時	
状態	半角2文字	null	
要求区分	半角1文字	null	
転送属性	半角1文字	null	
●データ/帳票区分	半角1文字		
●ファイルID	半角最大16文字	ファイルID	TESTF1
●宛先加入者CD	半角最大16文字	宛先加入者CD	AZSYSTEM
●発生元加入者CD	半角最大16文字	発生元加入者CD	SAS
ファイル明細CD	半角最大16文字	null	
ファイル名称	全角20文字	全角ファイル名称	
件数	半角数値8文字	0	
バイト数	半角数値10文字	0	
経過時間	半角数値8文字	0	
ステータス	半角最大8文字	「DONE」固定	
更新区分	半角1文字	レコード区分「S」の時出力モード(A:追加,O:置換 既定値A)。レコード区分「R」の時ファイル送信後処置(Y:出力済にする N:しない 既定値Y)。	
受信モード値	半角最大4文字	受信モード値(送受信区分「R」の時のみ)	
●処理端末ID	半角最大8文字	送受信実行端末ID(ftpサーバ端末ID)	AM1041
デバイス	半角1文字	送受信ファイルデバイス	
●データセット名	半角最大60文字	送受信ファイル名	/SNDDAT/TESTF1.txt
端末側更新区分	半角1文字	レコード区分「S」の時ファイル送信後処置(Y:削除する N:しない 既定値N)。レコード区分「R」の時出力モード値(O:出力 A:追加 既定値O)	
●要求端末IPアドレス	半角最大16文字	要求送信元サーバのIPアドレス	171.31.60.52
媒体交換区分	半角1文字	null	
データ長	半角数値5文字	null	
媒体交換バイト数	半角数値5文字	null	
オプション	半角最大60文字	送受信時オプション指定値	KCNV=N
アクセス権ID	半角最大8文字	null	
ファイル転送モード	半角1文字	null	
データタイプ	半角1文字	null	
予備	半角最大19文字	null	

各項目の区切りはタブコードとします。

「●」が付加された項目は値の設定が必須となります。

データセット名には、送受信実行端末のftpサーバ設定上の当該ファイルのパスを指定して下さい。

【ファイル名について】

通知ファイルのサーバ上のファイル名については特に規程はありませんが、A C O S 上の通知受付ライブラリに送信する際のファイル名は以下の規程に従って命名して下さい。

- a. 最大24桁の半角英数字文字列(大文字A～Zと数字0～9のみ使用の事) + 「__REQ」
さらに最初の一桁は大文字A～Zの何れかである事。
- b. ファイル名が他のサーバや同一サーバから同時に送信されてくる可能性のある通知ファイル名と重複しない事。

(ファイル名中にサーバ名やプロセスID等を含める事で実現可能です)

例)

S03154SERVER01_REQ

S1231510127SERVER02_REQ

【f t p コマンド例】

A C O S 側 f t p へのログイン時のUser/Account/Passwordが、FTP01/KANRI/AZIUN、
A C O S 側通知受付ライブラリが「UUV.AZINF」の時のf t p コマンド例を以下に示します。

```
open 172.31.10.51
user FTP01:KANRI AZIUN
cd UUV.AZINF()
put LocalReqFile.txt S0315SERVER01_REQ
bye
```

現状のA C O S の f t p サーバは同一User/Accountによる接続を同時には一つしか認めていません。因って、User/Accountはサーバ毎に割り当てておく事を推奨いたしますが、同一サーバから別プロセスから同時に通知ファイルの送信を行なう事とが想定される場合は、同時には実行しないように制御するか、転送に失敗したら別User/Accountにて再試行するような工夫を行なう必要があります。

因みに、f t p プロトコル上転送が正常終了すると「226」というステータス値が標準出力上に出力されますので、これをスクリプト上でチェックするのが一般的です。

5. 画面イメージ

a. Aziava画面(オプション)

クライアントPCのWebブラウザ上から以下のアプレット画面にて、転送状況検索、送受信指示の発行が可能です。

尚、ホームページのアプレット以外の部分については、任意のデザインを適用することが可能です。

The screenshot displays the Aziava web application interface within a Microsoft Internet Explorer browser window. The main area shows a table of files with columns for File ID, File Name, Adder CD, Paper, Count, Creation Time, Output Destination, and Status. A dialog box titled 'ファイル明細情報' (File Detail Information) is open, showing details for a selected file, including its ID, name, adder, and status. Below the main table, there are buttons for '表示' (Display), '検索...' (Search...), '詳細...' (Detail...), '受信...' (Receive...), '印刷...' (Print...), and '取消' (Cancel). To the left, there is a section for 'FTPデータ受信' (FTP Data Reception) with fields for '処理実行端末' (Processing Execution Terminal), 'ドライブ名' (Drive Name), 'データセット名' (Data Set Name), and '出力モード' (Output Mode). Below this, there is a section for 'ファイル受信後処理' (File Reception Post-Processing) with options for '何もしない' (Do Nothing) or '出力済みとする' (Treat as Output). To the right, there is a section for '印刷詳細設定' (Print Detail Setting) with fields for '処理実行端末ID' (Processing Execution Terminal ID), '印刷範囲' (Print Range), and '出力優先度' (Output Priority). The interface is designed for managing file transfers and printing operations.

ファイルID	ファイル名称	加入者CD	用紙	件数	作成日時	出力先	P	出力状態
TESTF1	テストファイル1	AZSYSTEM		0	00/00 00:00		5	格納中
SLFILE	プログラムソース	AZSYSTEM		4924	06/01 16:32	KOYAMA		受信失敗!
TESTF1	テスト	AZSYSTEM		2	06/01 17:55	KOYAMA		受信失敗!
AZLIST_KS	加入者情報一覧表	AZSYSTEM	汎用	19	06/04 16:22	SAS3PR	5	印刷失敗!
AZLIST_KS	加入者情報一覧表	AZSYSTEM	汎用	19	06/04 16:22	SAS3PR	5	未出力
SLFILE	プログラムソース	AZSYSTEM		6729	06/04 16:41	SAS3PR	5	受信失敗!
SLFILE	プログラムソース	AZSYSTEM		8				
SLFILE	プログラムソース	AZSYSTEM		1				
ILTX	ILテキスト	AZSYSTEM		2				
ILTX	ILテキスト	AZSYSTEM		3				
SLFILE	プログラムソース	AZSYSTEM		6				

ファイル明細情報

データ/帳票区分: ☒ (X:ファイルID/W:帳票ID)

ファイル明細コード: TONGS_CYIBSSJ5

ファイルID: HOD1MEINI

宛先加入者: TONGS とんちゃん

発生源加入者: AZSYSTEM Aziaホスト側業務一般

現在の状態: 入力 格納完了 出力 受信完了

ファイル属性情報

PFID=L0 REUSE=Y

印刷情報

作成(格納/送信)時情報

格納時間: 1999/06/08 08:23:23 から 1999/06/08 08:24:07

格納元情報: J000047 HOD0010

出力(抽出/受信)時情報

出力時間: 1999/06/08 08:36:30 から 1999/06/08 08:36:33

出力演件数: 1 から 3

出力先情報: PCL035

警告: アプレット ウィンドウ

FTPデータ受信

処理実行端末: AZIUN

ドライブ名: C (例) C:

データセット名: #DATA#AZB_LSET.TXT

出力モード

☐ 上書き(O) ☐ 追加(A) ☒ 作成(C) ☐ 追加/出力(E) ☐ 未保存時出力(O)

ファイル受信後処理

☐ 何もしない ☒ 出力済みとする

オプション:

バイナリーデータファイルを送受信する場合は、オプションにBINを指定してください

実行 キャンセル

警告: アプレット ウィンドウ

印刷詳細設定

処理実行端末ID: PCL035

印刷範囲

開始頁: 1 から 終了頁: 3

出力優先度

☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☒ 5

実行 キャンセル

警告: アプレット ウィンドウ

一覧画面からファイル明細を選択して、詳細ボタンを押すと上の詳細画面が表示されます。詳細画面は複数表示することが可能です。又、受信ボタンを押すと左の画面が表示され、受信指示を行なうことが出来ます。処理実行端末欄にAzia'n Transfer/for FTPにおけるFTPサーバー端末等を指定すると、当該端末に対する受信指示が発行されます。「Aziava」の場合はjavaの制約により、処理実行端末を省略して自端末で受信することは出来ません。尚、一覧画面を発生源別にすると、送信ボタンを押すことにより送信指示を行なうことが可能です。

一覧画面から帳票ファイル明細を選択して、印刷ボタンを押すと左の画面が表示され、処理実行端末に対する印刷指示を行なうことが出来ます。

6. 使用条件等

OS : ホスト側 ACOS-4 「XVP」3.1以上又は「XVP/PX」
サーバ側(Aziava使用時) WindowsNT 4.0,2000又はTurboLinux Ver3.0以降
クライアント側 ftpクライアント、ftpサーバが実装されたシステム

PP等 : VIS及びRIQS (V1又はV2),UXNET v2がインストールされている 事。
Aziava使用時はWindowsNTサーバにIIS4.0がインストールされていることが
必要です。又クライアント側WebブラウザとしてInternet Explorer4.0.1SP1
以上が必要です。

Azia'n Transfer R2.0

製造元 (有)Soft And Soul
tel: (03)3370-7051
fax: (03)3320-0950
e-mail: azian@softandsoul.co.jp

Azia'n Transferは、株式会社Imagicaシステムズ 及び
有限会社ソフト・アンド・ソウル の登録商標(申請中)です。
本書に記載された社名・商品名は各社の登録商標・商標です。